



栽培終了後に行うこと



(農業機械の整備・保全、効率的な資材購入を行いましょう！)

1. 農業機械の整備・保全 ~不具合防止は栽培終了後から!~

※ポイント

1. 屋内保管が大原則 (外置きは機械を壊す元、最悪の場合全損に!)

- 短期間でも「野ざらし・シートかけっ放し」では、シート内に溜まった湿気で外装・内部が傷み、高額な機械が全損することもあります。

2. 燃料タンクの中身に注意 (軽油は満タンに、ガソリンは空っぽに)

- 作業後に使い残した燃料は、種類ごとに適切に扱いましょう。

3. 栽培終了=エンジンオイルの交換期 (汚れオイルはエンジン故障の元)

- オイルが汚れたままでは不純物がエンジンの各部に詰まり、不具合を招きます。保管中に交換し、エンジンを健全な状態に保ちましょう。

4. 水洗いは慎重に (農業機械も電化製品です!)

- 電装品・作動ワイヤーの根元等、水気を嫌う箇所にかからないよう注意しましょう。

5. 洗って干したら潤滑油差し (差してもすぐには効きません)

- 可動部への注油は保管前に行い、十分行き渡るようにしましょう。

6. バッテリーの適切な取扱い (慌てる前の放電防止!)

機械に接続したままでは、バッテリーが上がる危険があります。保管前に+・-どちらかの電極を外しておきましょう。

*充電は機械を動かす1~2か月前に行うと速やかに作業できます。

7. ネズミ対策も忘れずに (思わぬ侵入者の悪戯に御用心!)

- 保管中に配線をかじる等により機械を壊します。また糞等により不衛生にもなります。機械本体・保管場所を清掃し、殺そ剤や粘着シート等を用い確実に駆除しましょう。

8. 耕耘爪等すり減る部品の点検・交換 (直前に気づき慌てないように)

- 作業効率や安全に影響する部品です。栽培前に整備しておきましょう。

• 適切な整備・保全を行い、本年産の不具合を翌年産に持ち越さないようにしましょう。

*農作業と同様、事故に注意して作業を行ってください。

2. 翌年産資材購入の留意点 ~使い残し確認で重複買い防止!~

※ポイント 翌年産の資材購入前に、使い残した資材の確認を

(参考：購入資材の内訳)

追加購入分

使い残し分

翌年産使用予定分

• 使い残しを翌年産で消費することにより、劣化による廃棄も防げます。

*農薬については、使用期限の切れたものは適切に廃棄しましょう。